峰延第2・2期地区の21年度以降

残工事費19・6億試算

空知総振農業　区画整理104haなど

【岩見沢発】空知総合振興局所管の経営体峰延第2・2期地区における2021年度以降の残事業概要がまとまった。残事業費は21億8650万円で、うち残工事費は19億6210万円となる見込み。残事業量は区画整理104・4㌶を予定している。25年度の事業完了を目指す。

美唄市の南部で国道12号線から1・5㌔㍍西側に位置する同地区の受益面積は104・4㌶。水稲を主体に小麦、大豆等の土地利用型作物やメロン、アスパラガス等の高収益作物を導入した営農が展開されている。

一方、区画規模が小さく未整備なほ場が多数存在。排水不良も発生しており、営農経費節減や農業経営の規模拡大などが課題となっている。

このため空知総振局は、18年度から経営体育成型農地整備事業に着手。104・4㌶に及ぶ区画整理によって、標準区画を0・3㌶から2㌶まで拡大することで状況の改善を図ることとした。

本年度は、事業費849万円のうち、工事費679万円を充て、区画整理内の整地、道路、用水路パイプライン化、排水路、暗渠排水客土を整備する予定。21年度以降の残事業量は区画整理104・4㌶で、残工事費に19億6210万円を見込んでいる。

区画整理内の用水路は塩化ビニル管を予定。排水路にはコンクリートフリューム等を採用することとしている。暗渠排水は合成樹脂管で、疎水材としてヒリ砂利を用いる予定だ。

25年度の事業完了を目指す。

開発局　6月1～3週道路交通状況

交通量増加傾向に

圏域間交通　減少続く

開発局は24日、道内における道路交通状況（第3報）を発表した。6月第1週～3週目の主要国道と高速道路の交通状況を調査したもの。日平均交通量を5月と比較すると、交通量は増加。主な圏域間の交通量は、第2週で最大43%の減少となった。圏域間異動については、道央圏を中心に新型コロナウイルス感染症による影響が表れている。

日平均交通量を前年同時期と比較し、本年度の道路交通状況を整理したもの。

主な都市の道路交通状況をみると、札幌は国道12号札幌市中央区において、第1週で12%、2週で10%、3週で7%減少。休日は、2週が11%、3週が15%と、さらに大幅な減少となっている。

小樽では、国道5号（小樽市稲穂）の状況を調査し、1週で36%、2週・3週で各33%減少。休日は、1週・2週で各33%、3週で27%の減となった。

主な圏域間の状況をみると、1週は10～42%、2週は10～43%、3週は13～28%の減少。休日は、1週が13%～49%減少、2週が1%増加～41%減少、3週が2%増加～35%減少となっている。道央道長万部～国縫、国道5号長万部（長万部町国縫）が大幅な減少となっている。

石狩地域と隣接地域との交通量は、8地点を対象に調査。前回同様、札樽道小樽JCT～銭函、国道230号札幌市南区小金湯などで大きく減少する結果となった。

国交省　改良すべき踏切道追加

本道　札沼線3ヵ所指定

国土交通省は24日、踏切道改良促進法に基づく法指定個所の追加個所を公表した。全国51ヵ所を新たに指定。うち、本道では3ヵ所が対象となった。いずれもJR札沼線にかかる施設で、札幌篠路線、学田作場、丸ﾒ街道を追加。法指定個所の累計は、14ヵ所にのぼった。

国交省は、2016年に改正した踏切道改良促進法に基づき、交通事故の防止および交通の円滑化に寄与することを目的に踏切道対策を推進。改良すべき踏切を指定し、立体交差化や拡幅のほか、踏切道の周辺対策などソフト・ハード両面から対策を講じることとしている。

19年度に公表した第5弾までに全国1129ヵ所を指定しており、うち、本道の対象は11ヵ所。今回公表した第6弾では、全国51ヵ所を新たに指定し、本道からは札幌篠路線、学田作場、丸ﾒ街道の3ヵ所を追加した。

踏切道改良促進法に基づく法指定数の累計は、全国で1180ヵ所。うち、道内の対象は14ヵ所となっている。

網走建管と網走測量設計協会

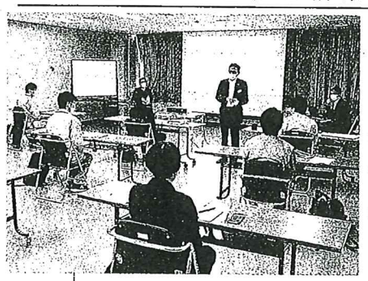
土木の基本身に付けて

初の新任技術職員研修会

【網走発】網走建管と網走測量設計協会の共催による初の新任技術職員研修会が24日、オホーツク合同庁舎で開催された。建管から5人、協会から7人の計12人が参加。㈱巴設計の高橋徹社長を講師に迎え、土木設計によく使われる数式など、基本的な事項を学んだ。

研修会は、4月に札幌市内で開催された新任技術研修が新型コロナウイルスの影響で中断し、建管ごとに実施することになったことを受け、網走建管が網走測量設計協会の協力を得て初めて実施した。「とても分かりやすく聞きやすい」と評判の巴設計の高橋社長に協会を通して講師を依頼。高橋社長も快諾した。建管から5人、協会から7人の男女計12人が参加した。

はじめに、青柳充保地域調整課長があいさつに立ち、「頭の片隅に置き、実践する際に資料を読み返す、思い出すことにより、身に付いていく」と、研修の意義を説明。「同期の仲間意識を高める重要な機会」と述べ、実り多い研修になるよう期待を寄せた。



建管と協会から職員12人が参加した

講師の高橋社長は、①土木設計において使用する数式②委託積算の初歩について説明し、委託積算では、実際の設計書を使用した演習も行った。「分からないことは恥ではない。先輩などに積極的に聞いて教えてもらおう」と呼びかけた。

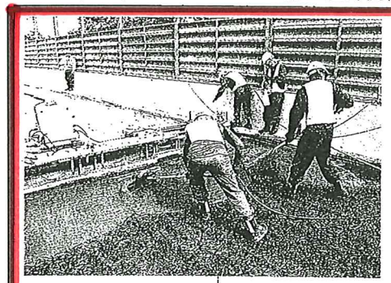
パワーポイントとホワイトボード、各種資料を用い、参加者一人ひとりに話しかけるように講義を展開。「ピタゴラスの定理は測量の基本」「河川の右岸と左岸は海の方を見て判断する」など、丁寧で分かりやすい説明に、参加者はメモを取るなど、真剣な表情で耳を傾けていた。

参加者は「とても勉強になった。これからの仕事に生かしていきたい」などと感想を述べていた。

ネクスコ東日本道支社が試験施工

構造物の耐久性向上期待

道央道・月寒川橋補強に新素材



超級密高強度繊維補強コンクリート「J－ティフコム」を施工した。工期短縮や長寿命化にも期待される

東日本高速道路㈱道支社は、㈱NIPPO北海道支店が施工する「道央自動車道岩見沢管内舗装補修」の月寒川橋補修の現場で、新素材「J－ティフコム」を施工を実施することとした。

J－ティフコムは、シリカフィルムを含んだ専用のミックスセメントに、補強用鋼繊維2種類を混入して高気密・高強度であり、厚さ2㌢ほどで従来の補修材と同等以上の補修・補強効果が得られる。

防水性に優れているほか、水だけで既設コンクリートと接着できることから、床版防水工のプロセスが省略でき、工期を3割程度短縮することが可能となる。また、高い気密性により劣化因子を遮断できるため、床版の耐久性向上・長寿命化が期待されている。

試験施工は、NIPPOが施工する道央道岩見沢管内舗装補修の月寒川橋の現場で実施。アス舗装切削を施し、はつりを行ったあと、ウォータージェット工による床版を洗浄し、J－ティフコムを敷き均した。

三田村社長は「J－ティフコムの遮水性・耐久性の高さは、様々な実験結果から確信している。今後、道内の現場でも広く採用されれば」と期待を寄せていた。

本道の高速道路の舗装補修は、積雪寒冷地であることから工期が短く、凍結防止剤や寒冷気候の影響で床版の劣化が早いことが課題となっている。東日本高速道路は、これらの課題に対応できる新しい素材として、J－ティフコムの試験施工を実施することとした。

本道の高速道路で初めて採用し、24日に試験施工を実施した。㈱サンブリッジ（札幌、三田村浩社長）が複数社で開発した新素材は、気密性および強度が高く、橋梁の床版上面に施工した場合、工期の短縮や床版の耐久性向上・長寿命化が期待されている。

根室道路工事安全協が総会

新会長に世紀東急・門馬氏

事業計画、役員など書面決議

【釧路発】釧路開建根室道路事務所管工事の受注者で組織する根室道路事務所請負工事安全協議会は、本年度総会を書面開催し、議案を決議した。新会長に世紀東急工業㈱道東営業所長の門馬浩二氏が就任。事業計画には夏と秋の交通安全啓発・啓蒙活動、工事現場パトロールなどを盛り込んだ。

3密回避のため例年6月に開いている総会を書面開催とし議案を配布。会員企業10社が23日までに回答し、全会一致ですべての議案が原案どおり可決された。

事業計画では、7月に夏の交通安全啓発・啓蒙活動と工事現場パトロール・安全連絡会議、9月に安全講習会と秋の交通安全啓発・啓蒙活動、11月と来年1月に工事現場パトロールを行う予定となっている。

本年度役員については、新会長に門馬氏が就いたほか、副会長に伊藤建設㈱社長の辻貢氏、赤石建設㈱専務の赤石隆哲氏が就任した。顧問は釧路開建根室道路事務所の川口則幸所長。事務局は伊藤建設㈱が務める。

事業計画

現場指導の実施など

建災防江差分会　通常総会

【函館発】建災防江差分会（林勲分会長）は、2020年度通常総会の議案について書面議決を行い、事業計画などを決定した。

新型コロナウイルス感染防止対策として、本年度は通常総会を書面開催に切り替えた。議事では、2019年度事業報告および収支決算報告を承認し、20年度事業計画を決定した。

事業計画には、安全衛生意識の高揚および三大災害根絶を図るため、現場指導員事業所への安全ポスターの配布等を盛り込んだ。

このほか、役員の補欠選挙では、高橋千尋氏（㈱高橋建設）を監事に選任した。

7月2、9日開札

業務2件中止

網走建管

【網走発】網走建管は、7月2日開札予定の㊿番業務「オホーツク紋別空港整備滑走路端安全区域拡張三者検討会」と、7月9日に開札を予定していた㊾番業務「オホーツク紋別空港整備施工管理」を取り止めた。

29日開札予定

設計業務中止

札幌市交通局

札幌市交通局は、29日開札予定の「南北線中島公園駅拡張予備設計」を中止した。